

平成28年度

事務事業評価表 A (平成27年度の実績評価)

記入年月日
平成 28 年 4 月 1 日

Table with columns for project name, policy system position, financial position, and budget items. Includes details for 'Insecticide Damage Prevention Subsidy' and 'Agriculture Revitalization'.

(Do) 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順. Includes details on subsidy amounts and application procedures.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with multiple columns for indicators (手段, 対象, 意図) and their values from 26th to 30th years. Includes metrics like 'Number of new insecticide damage prevention permit holders'.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table showing input amounts and personnel costs from 26th to 30th years. Includes sub-categories like 'National Treasury Expenditure' and 'Personnel Costs'.

Table showing the internal breakdown of business expenses (事業費の内訳) for 27th and 28th years, including '19 Burden Subsidy'.

(4) 当該年度の実施内容

Table for implementation content (実施内容) for 28th, 29th, and 30th years. Includes a list of main activities like 'City Manifesto' and 'Future PJ Project'.

事務事業名	イノシシ被害防止対策補助金	事務事業No.	50105000867	所属課	農林課
-------	---------------	---------	-------------	-----	-----

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その2）

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	桜川市合併以前から、旧岩瀬町・旧真壁町で実施しており、合併に伴って内容が統一されたものである。イノシシ被害の増加に伴い、補助件数は増加している。またなな猟免許の新規取得者に対する補助については、イノシシ被害の増加に合わせ、平成22年度より新設された。
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？	補助額の増加希望があるほか、宅地など農用地以外への設置についても補助対象にしてほしいとの要望がある。また、現在は侵入防止柵の設置後5年は、同じ農地での申請は認められないが、これについても一部電気柵本体の故障などで5年以内ではあるが補助対象としてほしいという要望もある。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目

目的 妥当性	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？）	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	補助を行うことで、農作物の被害防止対策が推進され、被害金額の軽減につながる。
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	市内の農業者へ補助を行うことで農作物の被害軽減につながるため、市での事業実施は妥当である。
	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？）	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	事業内容の周知を行い、補助の利用を促進することで、農作物被害の軽減につなげることは可能である。
有効性	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？）	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	被害防止対策が進まなくなり、農作物の被害が増大する。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性はありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合）→	<input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる	大規模な侵入防止柵設置の要望については、国や県の補助を活用しての設置を検討することも可能。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？）	<input type="checkbox"/> 削減余地がない	事業費の削減には補助率を下げるか補助対象を絞り込むしかない。それを行ってしまうと被害防護対策が減少し、農作物の被害増加につながる。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？）	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	補助額には上限を設け、受益者にも適正な負担（購入費の半額以上）が発生するため、事業は公平・公正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括（振り返り、反省点）													
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	今後は以前に補助事業を活用して設置した電気柵等の付け替え等が発生してくると思われる。そのような面についても周知を行い、本事業の活用をすすめていく。また今後は各地区の要望なども踏まえ、国や県の補助事業の活用や、本事業においても補助内容の拡充についても検討する必要がある。													
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果（終了・廃止・休止の場合は記入不要）													
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input type="checkbox"/> 現状維持	（複数回答可） <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる													
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策	<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>	成果	向上			○	維持			×	低下			×
成果	向上				○									
	維持				×									
	低下			×										
本事業の周知を改めて行うとともに、桜川市鳥獣害対策協議会などとも連携し、国や県の補助事業の活用も視野に入れ市内農地に対する侵入防止柵の設置を推進し、農作物被害の軽減につなげていく。また、被害防止計画を策定した平成25年度に比べ、被害面積・金額が大幅に増加しているため、今後は被害防止計画の見直しも検討し、実現可能な対策を進めていく。	(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 ① コスト削減優先度評価結果 ⑨													

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出	確認欄 <input checked="" type="checkbox"/> 確認